

歴史ある山に触れてみよう

八王子城跡 深沢山

実施日 2012年11月10日(木)
 天候 曇り
 リーダー 中村 友子
 参加者 上野キヨ、一柳昭、佐藤金治、西山正巳、島本陳重、小村井好枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、岩森明克、中村ミチ子、柳田富美子 計15名
 費用 360円(高尾駅起算)
 タイム 高尾駅(10:00バス)霊園前(10:10~10:30)管理棟(11:00~12:15)山頂・松木曲輪(12:25昼食~13:00)詰の城(13:30~14:00)富士見台(14:10~15:00)林道 御主殿の滝(15:30)管理棟(15:40)氏照墓(15:50~16:05)霊園前BS・高尾駅(16:25)

2日ほど前の天気予報では雨50%の予想が前日から曇りの予報に変わり、天気に恵まれた山行であった。

バス停から左右の山並を見ながら管理事務所まで舗装された道を歩いた。事務所で近づくガイダンス施設建築中の為トラックの往来も多い。すでに出



来上がっているジオラマで八王子城の概略、本日のコースの説明後、管理事務所東横から登山開始。今年の紅葉は、台風の

為か気象の為か鮮やかではない。

鳥居を潜り、旧道に馬蹄段を分断した新道を登り詰めると、城の裏口へと進むことの出来る柵門台に到着。更に険しいジグザクの山道を登りながらキジョランを観察し少し進むと、目の前が急に開け本日クッキリとは言えないが関東平野が素晴らしい。420余年前、城の当主もここから



自分の領地を眺めおろしたのであろう。2本の大杉を通り抜け、階段を登った所に八王子市の名前の由来にもなった(?)八王子神社。神社の裏手少し登った所が本丸跡の山頂。小宮曲輪を廻って松木曲輪に



て 関 東 平
野、高尾山
系を見なが
ら昼食を養
英気めの城
い詰めを落
へ詰めの城
見ずして落
した詰めの
る。曇りの
城山分岐ま
も長い下り
道。分岐を
左に折れ、
はしご崩落
の為注意が
必要な箇所
をロープにつ
たいに下り、
林道に出、
御主殿の滝、
御主殿跡、曳
橋、古道を通
り今朝方寄
った管理事



務所に戻る。

北条氏照と家臣の墓を見て霊園前バス停へ。しばらくバスを待ち高尾山駅到着、解散。

☆☆の山行で会報には載せましたが、☆☆☆にした方が良かったです。反省！！。にもかかわら参加者の皆さん御協力有り難うございました。



務所に戻る。

北条氏照と家臣の墓を見て霊園前バス停へ。しばらくバスを待ち高尾山駅到着、解散。



(記・中村 友子)
(写真提供・伊藤 久雄)

